



世界エスペラント協会 (UEA) の声明
第5回先住民族の権利に関する専門家機構 (EMRIP)
テーマ: 言語と文化
パレ・デ・ナシオン、国連、ジュネーブ、2012年7月9-13日

議長、今回の EMRIP の議長に選出されましたことを私たちの組織を代表してお祝い申し上げます。

お集まりの皆さま、サルートン(今日は)！

私の名前はステファーン・ケレルと申します。世界エスペラント協会 (UEA) を代表して参りました。UEA は、中立的な国際語エスペラントの使用者で構成される世界的な協会です。エスペラントは、既に125年にわたって全世界で民族間のコミュニケーションに使われ、明快な相互理解と言語平等を推進してきました。

先住民族は、少数民族と同様、これまで、また今日でも多くの場合、母語ではなく支配言語による教育を受けさせられています。これにより、彼らは自らの言語、文化、そしてアイデンティティーを奪われ、生活の質の劣化と尊厳の侵害を被っています。

教育学、社会言語学、心理学、人類学、社会学の調査・研究で証明されているとおり、そのような教育が行われると、新しい世代は、自らのルーツ、文化、言語を捨てることを余儀なくされ、その結果、身体的・精神的な問題がしばしば起きます。

著名な言語学者、中でもトーヴェ・スクトナブ・カンガス教授によると、また関連する国際法に照らすと、そのような教育政策は、人類に対する犯罪であると法律的に見なすことができます。

教育を受ける権利は、基本的な人権であり、他のあらゆる人権を行使する上で不可欠なものです。先住民族、部族、少数民族の母語を当該共同体の子どもたちへの教育において主要な教授言語として使わないとすれば、彼らの教育を受ける権利は侵害され、貧困の連鎖が続くことになります。今日、数百万の子どもと大人が不十分な言語政策のために教育の機会を奪われています。

少数民族や先住民族の言語は、多くの場合、国や地方の行政において、または学校教育において使うことが許されていません。その結果、先住民族や少数民族の人たちが公共生活に完全に参加することは困難になっています。

このようなプロセスにより、世界の言語多様性・文化多様性の消滅がますます急速に進行しています。私たちは、言語多様性の加速的な喪失を強く憂います。

生物多様性と言語多様性が不可分であり、連動しており、相互に依存していることは証明されています。自然環境に関して先住民族が有している伝統知識は、彼らの言語の中に保存されていることが多いのです。言語多様性の喪失は、持続可能な生物多様性に不可欠な、何世代にもわたる知識の喪失をもたらします。

「文化の多様性に関するユネスコ世界宣言」(2001年11月2日)の第四条は、次のように述べています。「文化多様性の擁護は人間の尊厳尊重と切り離せない倫理的必須課題である。それは人権と基本的自由の擁護、特に少数民族に属する人々の権利や先住民族の権利擁護の確約を意味す

る。何人であろうと、文化の多様性を理由に国際法で保証された人権を侵害し、またその範囲を制限してはならない。」

ユネスコは、二言語使用または多言語使用に基づく、母語による万人の教育を支持しています。同様に私たち世界エスペラント協会 (UEA) も母語による万人の教育を支持しています。UEA は、特に、民族間の相互理解と協力活動の理想を達成することを運動の目的としており、国際関係における言語問題の解決や、コミュニケーションの円滑化を目指しています。国連およびユネスコと公式関係を有する UEA は、少数民族や先住民族の言語権を擁護するための活動を展開する中で、中立的で学習容易な民族間言語エスペラントを真に国際的なコミュニケーション手段として提案しています。

生活のあらゆる場面で母語を使うことは、基本的な人権です。ユネスコの「文化的表現の多様性の保護と促進に関する条約」(パリ、2005年10月20日)には、「言語上の多様性が文化の多様性の基本的な要素であることを想起し」とあります。

既に UEA では、「先住民族対話」というプログラムの下、27民族に属する先住民族の人たちにコミュニケーション手段としてのコンピュータとエスペラントを教えました。これは、講習会の形式で数回行いましたが、その目的は、先住民族の人たちが全ての大陸を越えて共通の問題を言語的に平等に話し合えるようにすることでした。

ダンコン・プロ・ヴィア・アテント(ご静聴ありがとうございました)。 [▶ http://goo.gl/ma2Kp](http://goo.gl/ma2Kp) 

参考サイト:

- Déclaration universelle de l'UNESCO sur la diversité culturelle - 2 novembre 2001
http://portal.unesco.org/fr/ev.php-URL_ID=13179&URL_DO=DO_TOPIC&URL_SECTION=201.html
- CONVENTION de l'UNESCO sur la protection et la promotion de la diversité des expressions culturelles. Paris, 20.10.2005 - <http://unesdoc.unesco.org/images/0014/001429/142919f.pdf>
- Final Declaration of the 64th Annual UN DPI/NGO Conference (Bonn, September 2011)
<http://www.un.org/wcm/content/site/ngoconference/resources/final>
- Skutnabb-Kangas, Tove & Heugh, Kathleen (eds): Multilingual Education and Sustainable Diversity Work: From Periphery to Center. New York: Routledge, 2012.
http://www.tove-skutnabb-kangas.org/en/most_recent_books.html
- Indigenous Children's Education as Linguistic Genocide and a Crime Against Humanity? A Global View
Tove Skutnabb-Kangas and Robert Dunbar, Gâldu Câlă. Journal of Indigenous Peoples' Rights No 1, 2010
<http://www.e-pages.dk/grusweb/55/>
- Phillipson, Robert 2009. *Linguistic imperialism continued*. New York and London: Routledge.
<http://www.linguistic-rights.org/robert-phillipson/>
- Advocacy Kit for Promoting Multilingual Education: Including the Excluded
<http://unesdoc.unesco.org/images/0015/001521/152198e.pdf>
- Why Languages Matter - Meeting Millennium Development Goals through local languages
http://www.sil.org/sil/global/mdg_booklet.pdf
- Linguistic Diversity (Terralingua)
<http://www.terralingua.org/linguisticdiversity/>
- Biocultural Diversity (Terralingua)
<http://www.terralingua.org/overview-bcd/>
- 文化の多様性に関するユネスコ世界宣言
(UNESCO Universal Declaration on Cultural Diversity)
<http://www.unesco.or.jp/meguro/unesco/02923cul.div.htm>
- 文化的表現の多様性の保護と促進に関する条約
(Convention on the Protection and Promotion of the Diversity of Cultural Expressions)
<http://www.mext.go.jp/unesco/009/003/018.pdf>

www.uea.org | www.droits-linguistiques.org | www.esperanto.net | www.lernu.net | www.jei.or.jp